

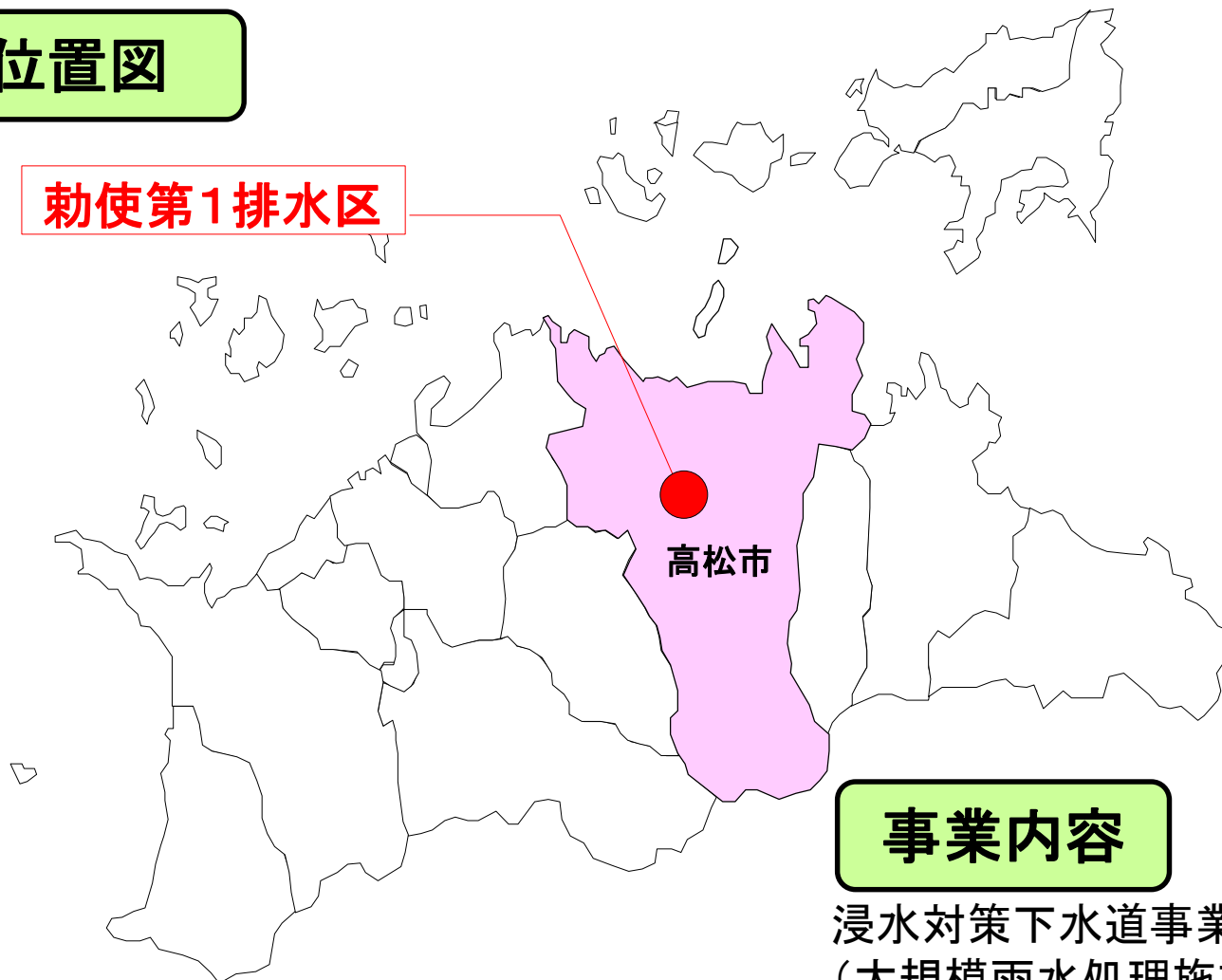
新規事業採択時評価対象事業

浸水対策下水道事業 勅使第1地区
(大規模雨水処理施設整備事業)

高松市 下水道整備課

◇1 事業の概要

位置図



高松市作成図

事業内容

浸水対策下水道事業 勅使第1地区
(大規模雨水処理施設整備事業)

事業着手年度 令和6年度

事業箇所 高松市勅使町外1町(勅使第1排水区)

事業費 3,490百万円

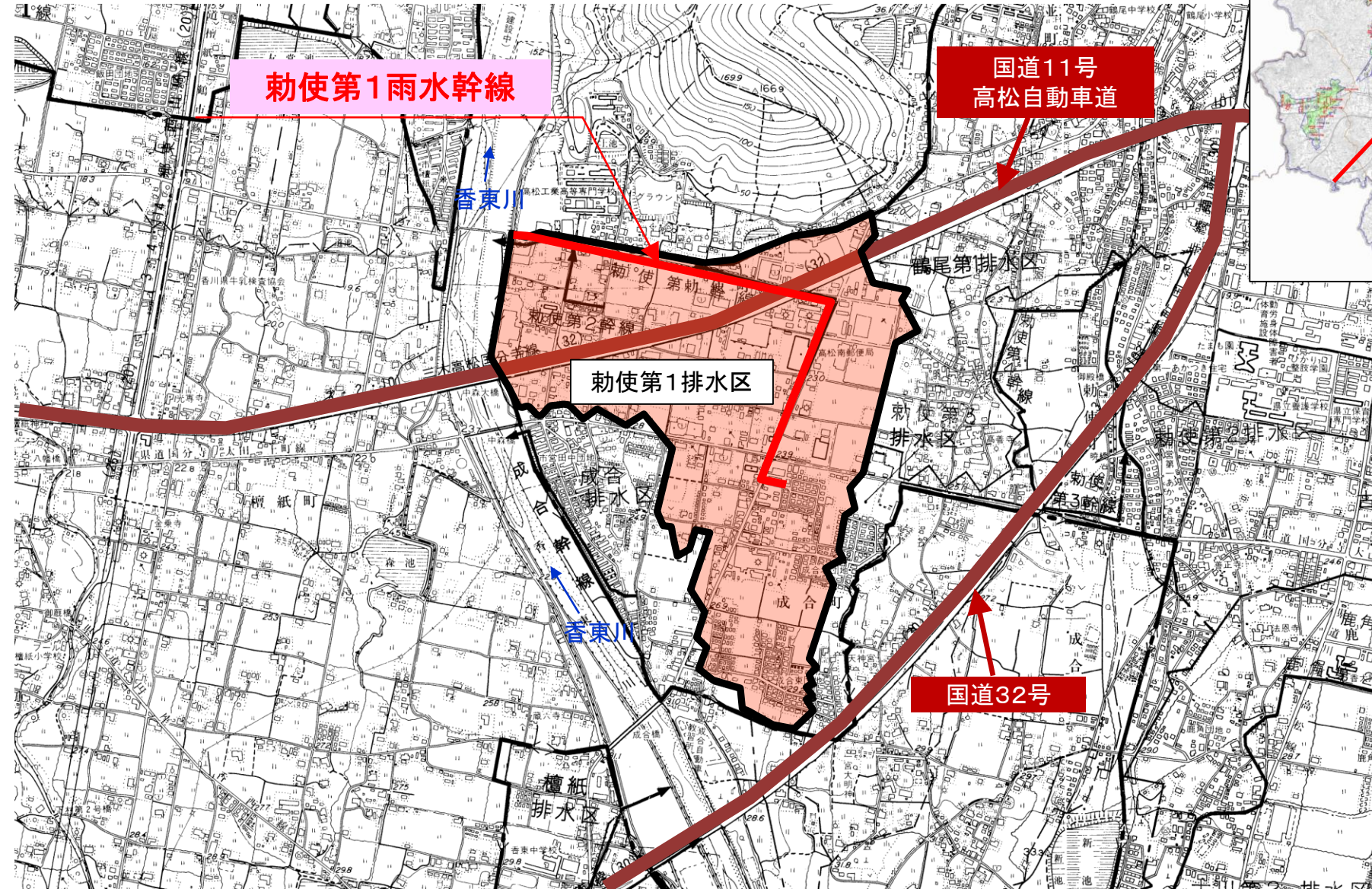
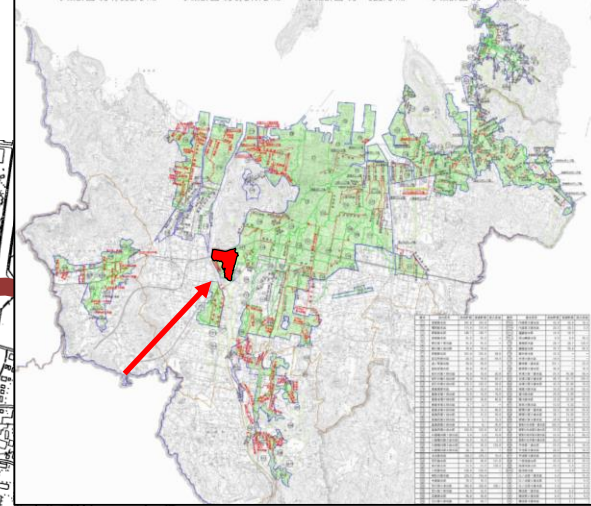
実施内容 雨水バイパス管 ϕ 1,200mm L=214m
 ϕ 1,800mm L=1,228m

◇1 事業の概要

排水区の概要

高松市公共下水道 勅使第1排水区 面積 75.5ha

高松市下水道計画一般図(雨水)



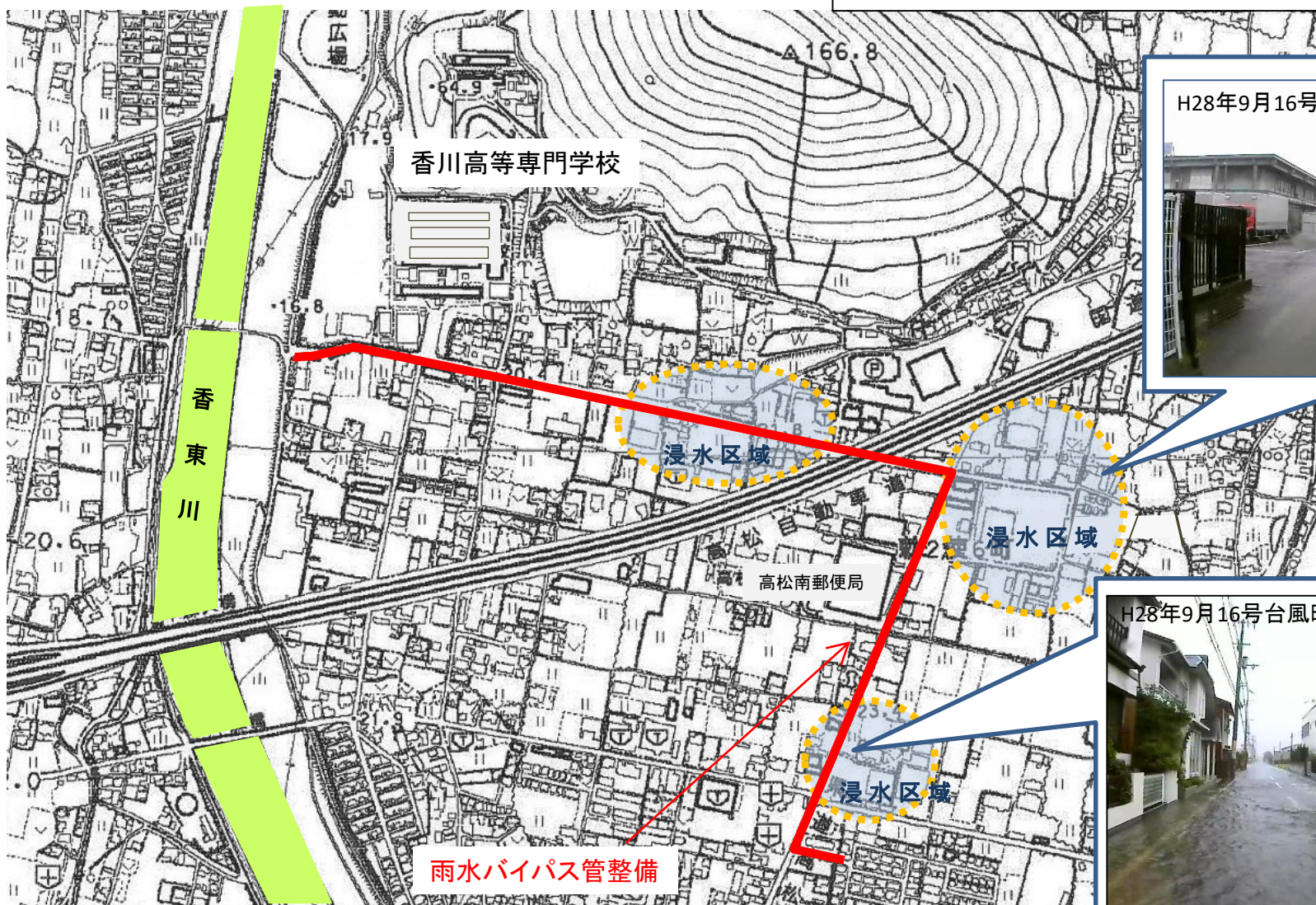
◇1 事業の概要

過去浸水状況

当該地区は、既存水路の排水能力が不足している状況であり、H16年、H21年度などに浸水被害が発生している。

■浸水棟数（床下、床上）

- ・ H16台風23号 : 109棟
- ・ H21豪雨 : 54棟
- ・ H28台風16号 : 浸水被害あり（棟数不明）

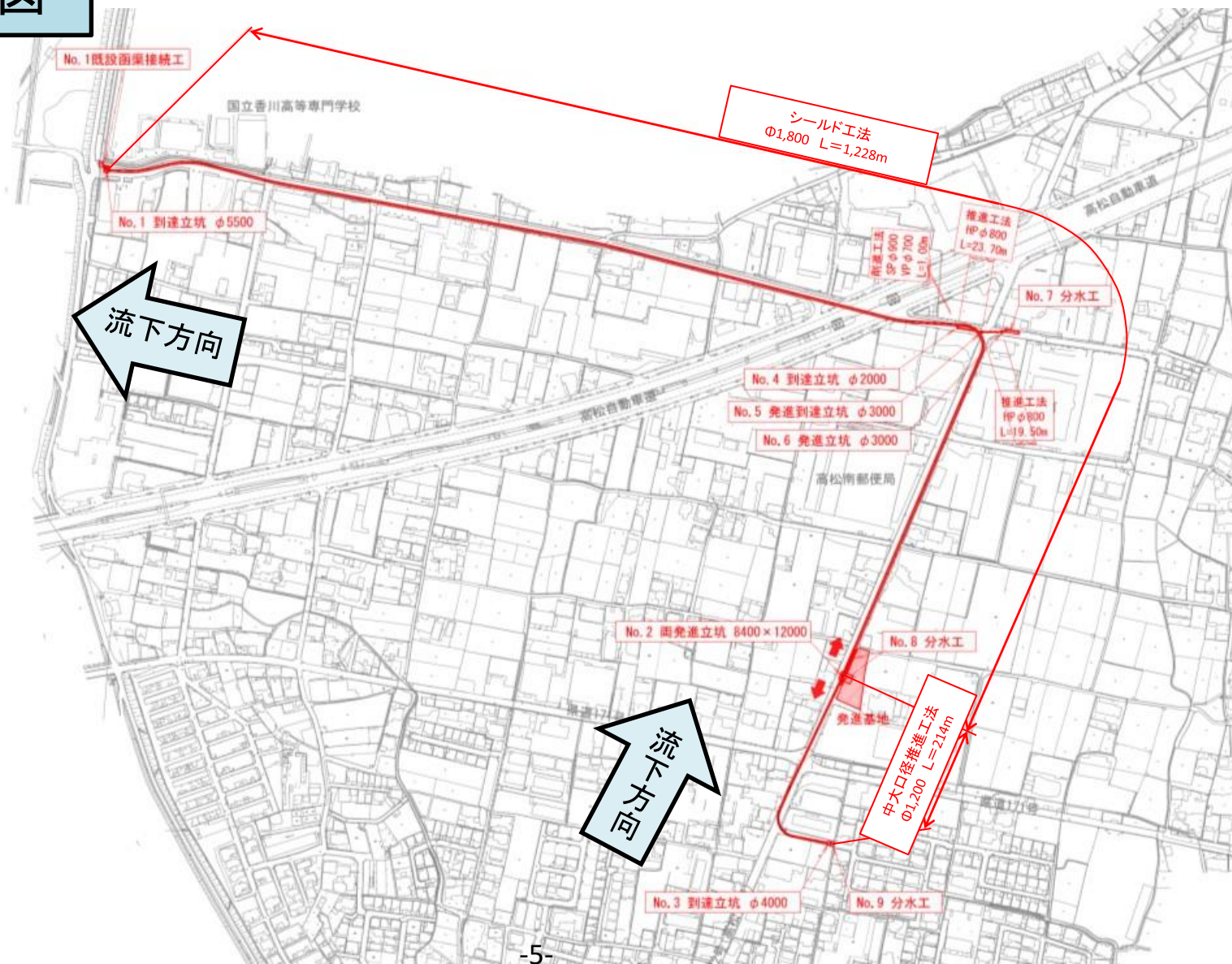


◇1 事業の概要

勅使第1雨水幹線 計画図

計画平面図

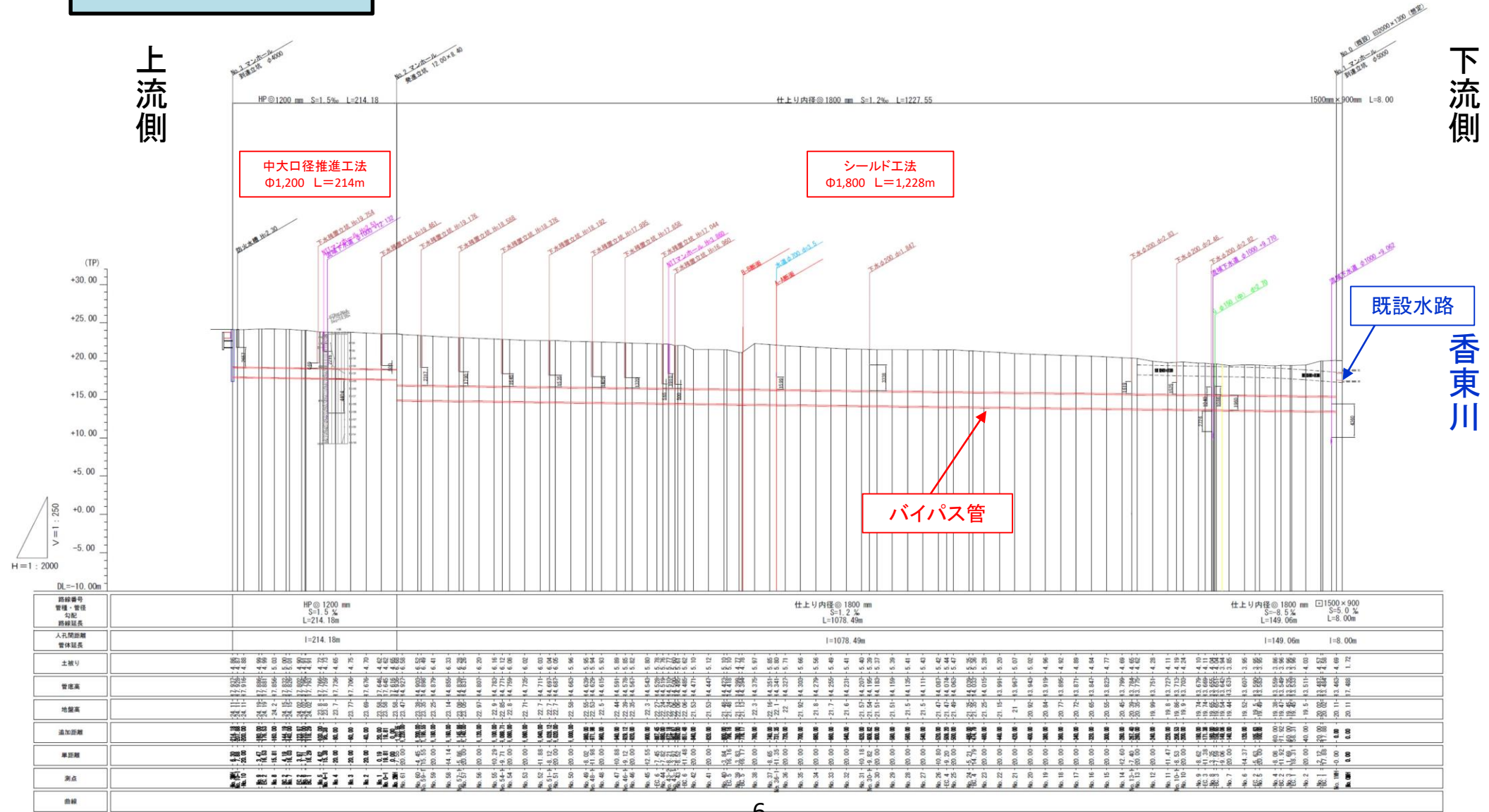
香東川



◇1 事業の概要

勅使第1雨水幹線 計画図

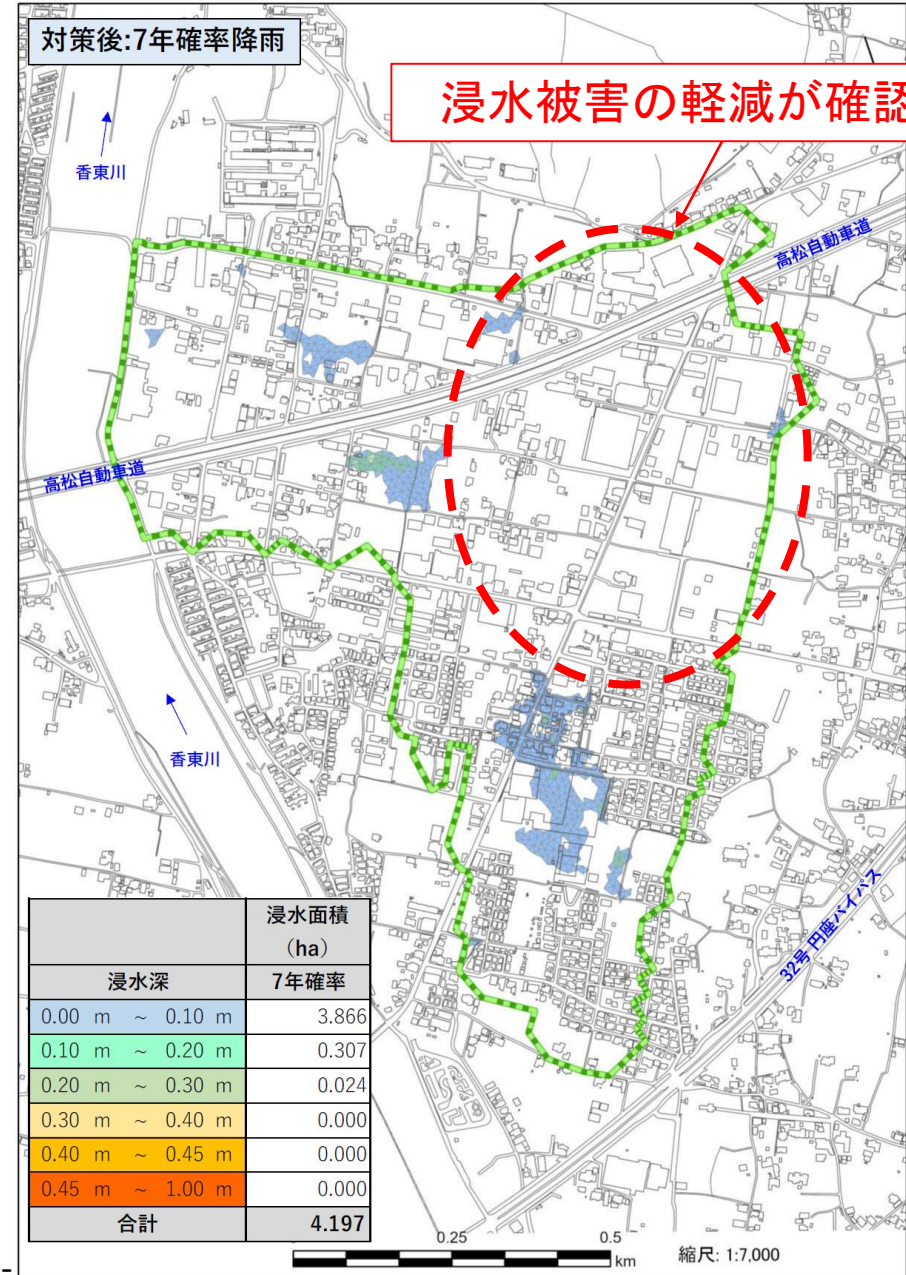
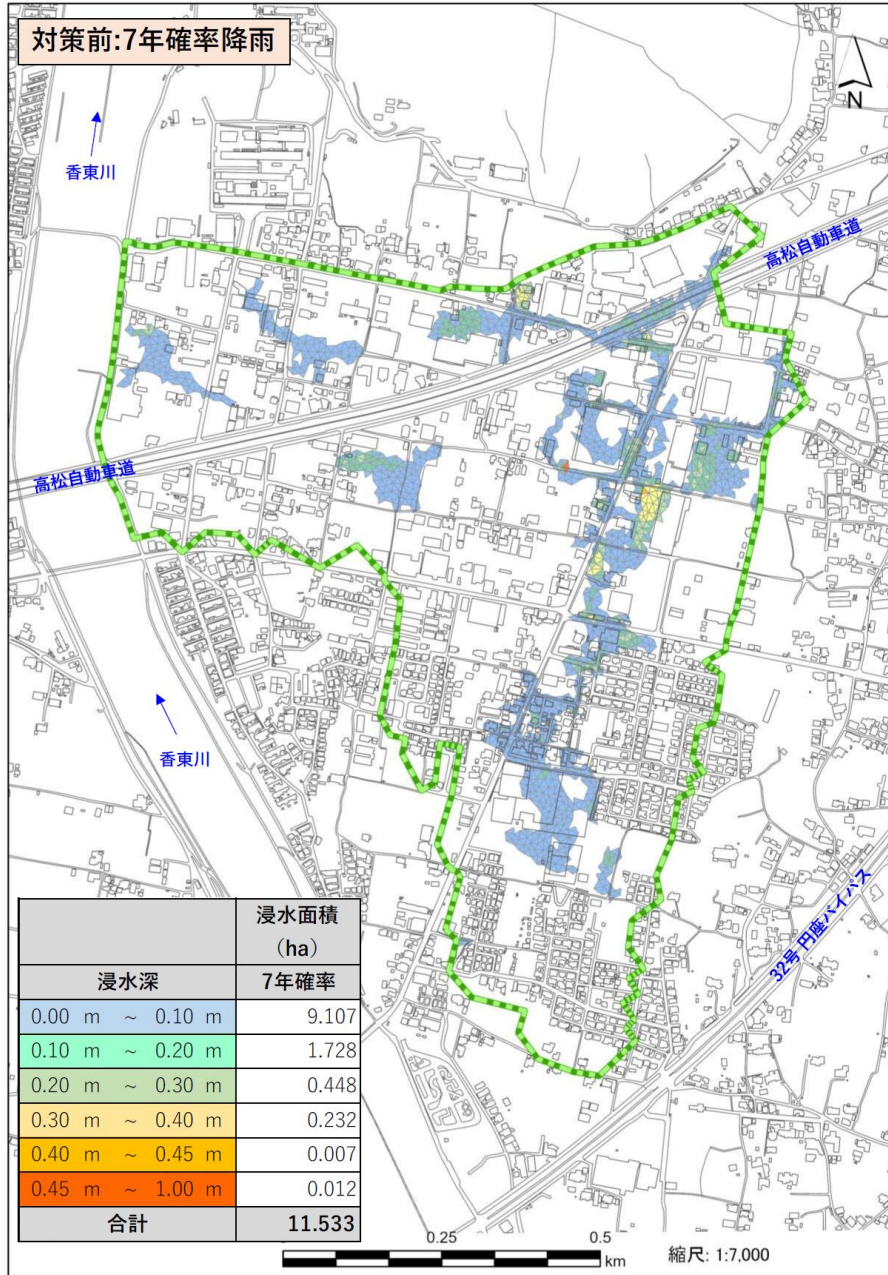
計画縦断図



◇1 事業の概要

シミュレーションによる効果の確認

7年確率 降雨強度 42.5mm/h



◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比(B/C)の算定結果

・**総便益B=4,070(百万円)**

便益 = 3,643(百万円)

残存価値 = 427(百万円)

・**総費用C=3,688(百万円)**

建設費 = 3,687(百万円)

維持管理費 = 1.2(百万円)

費用便益比B/C=1.10

純便益(B-C)の算定結果

・純便益B-C

382(百万円)

勅使第1雨水幹線の便益評価

・直接被害

家屋、事業所、自動車、公共土木施設、
農地・農業用施設、農作物

・間接被害

精神被害額、営業停止損失、応急対応費
用、水害廃棄物処理費用

◇3 対応方針(案)

1. 新規事業採択時評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 当該地域は、平成16年、21年度などに浸水被害を受けており、既存水路の能力が不足している状況であることから、今後も引き続き、甚大な被害が発生する恐れがある。近年の気候変動の影響により、全国的に災害が激甚化・頻発化する傾向にあることから、既存排水施設を補完するバイパス幹線を整備し、早期に浸水被害の軽減を図る必要がある。

2) 事業の投資効果

- 費用便益比 (B/C) 1.10

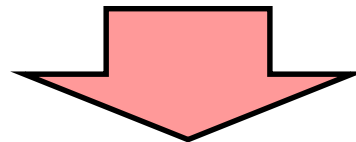
3) 事業の進捗状況

- 事業実施に必要な用地については、借地協議が完了している。関係機関協議として、道路管理者、高速道路管理会社、地元水利組合等との協議を進めている。

②事業の進捗の見込みの視点

- 事業用地は、借地協議済みであり、関係機関協議についても今年度中の完了を見込んでいる。よって、次年度からの事業を実施することが可能であることから、円滑に事業の進捗が図られる見込みである。

2. 対応方針(案)



対応方針(案): 実施